



# 平成23年3月期 第3四半期決算短信〔米国会計基準〕(連結)

平成23年1月27日

上場会社名 株式会社 小松製作所

上場取引所 東大

コード番号 6301 URL <http://www.komatsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野路 國夫

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 浦野 邦子

TEL 03-5561-2616

四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	1,301,973	29.7	162,747	350.9	158,903	358.1	100,622	448.2
22年3月期第3四半期	1,003,927	△38.9	36,097	△82.0	34,688	△80.5	18,355	△83.8

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	103.97	103.91
22年3月期第3四半期	18.96	18.95

### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	1,999,946	899,012	853,526	42.7	881.94
22年3月期	1,959,055	876,799	833,975	42.6	861.51

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
23年3月期	—	18.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

## 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	1,815,000	26.8	230,000	243.1	225,000	246.3	140,000	317.2	円 銭 144.66

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、添付資料6ページ 2. その他の情報 をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期3Q 998,744,060株 22年3月期 998,744,060株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 30,959,827株 22年3月期 30,704,084株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期3Q 967,788,140株 22年3月期3Q 968,000,628株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

（参考）平成23年3月期第3四半期（3ヵ月）の連結業績（平成22年10月1日～平成22年12月31日）

（百万円未満四捨五入）

連結経営成績（3ヵ月）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	442,210	23.5	58,835	260.7	58,792	262.1	36,858	262.9
22年3月期第3四半期	357,964	△17.0	16,312	△59.7	16,236	△24.0	10,157	△21.7

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	38.09	38.06
22年3月期第3四半期	10.49	10.49

（参考）平成23年3月期の個別業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	730,000	59.5	78,000	-	85,000	-	51,000	-	52.67

（注）当四半期における業績予想の修正の有無 : 有

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
（3）連結業績予想に関する定性的情報	P. 5
2. その他の情報	P. 6
（1）当四半期中における重要な子会社の異動	P. 6
（2）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 6
（3）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 6
3. 連結財務諸表等	P. 7
（1）四半期連結貸借対照表	P. 7
（2）四半期連結損益計算書	P. 9
（3）四半期連結純資産計算書	P. 11
（4）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
（5）継続企業の前提に関する注記	P. 13
（6）セグメント情報	P. 13
（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツグループは、昨年 4 月より 3 カ年の中期経営計画「Global Teamwork for Tomorrow」をスタートし、①製品・部品の ICT（情報通信技術）化の推進、②環境対応・安全性向上の商品開発、③中国、東南アジア、中南米など「戦略市場」における販売・サービス体制の拡充、④現場力の強化による継続的な改善の推進を重点項目として活動を開始しました。

本中期経営計画の初年度となる 2011 年 3 月期の第 3 四半期連結累計期間（2010 年 4 月 1 日から 2010 年 12 月 31 日まで）においては、建設・鉱山機械の需要は、中国、東南アジア、中南米など「戦略市場」で高い水準で推移し、「伝統市場」である日本、北米、欧州でも回復し、各地域で前年同期を上回りました。また産業機械の需要も、「戦略市場」における自動車生産台数の増加と、中国を中心としたアジア地域での太陽電池産業の成長に伴い、回復に向かいました。

この市場の伸びをとらえ、連結売上高は 1 兆 3,019 億円（前年同期比 29.7%増）となりました。利益につきましては、為替が米ドル、ユーロ、人民元に対し前年同期に比べ大幅に円高となったものの、売上げ数量が増加したことに加え、販売価格や製造原価の改善などに引き続き注力した結果、営業利益は 1,627 億円（前年同期比 350.9%増、売上高営業利益率は前年同期に比べ 8.9 ポイント上回る 12.5%）、税引前四半期純利益は 1,589 億円（前年同期比 358.1%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は 1,006 億円（前年同期比 448.2%増）と、それぞれ前年同期を大幅に上回りました。

※本文に記載しています売上高および利益は、すべて 2010 年 4 月から 12 月までの 9 カ月間の累計です。

（金額単位：百万円）

	当第 3 四半期 連結累計期間 [ A ] 自 2010. 4. 1 至 2010. 12. 31 1ドル = 86 円 1ユーロ = 112 円 1元 = 12.8 円	前第 3 四半期 連結累計期間 [ B ] 自 2009. 4. 1 至 2009. 12. 31 1ドル = 93 円 1ユーロ = 133 円 1元 = 13.7 円	増減率 % [ (A-B)/B ]
売上高	1,301,973	1,003,927	29.7
営業利益	162,747	36,097	350.9
税引前四半期純利益	158,903	34,688	358.1
当社株主に帰属する四半期純利益	100,622	18,355	448.2

部門別の概況は以下のとおりです。

#### 【建設機械・車両】

建設機械・車両部門では、「戦略市場」の中長期的成長を見込み、生産能力の増強、販売・プロダクトサポート体制の強化などに引き続き注力するなか、需要は、中国、東南アジア、中南米などで高い水準で推移

するとともに、「伝統市場」である日本、北米、欧州においても回復しました。このグローバルな需要の回復を着実にとらえ、売上高は 1 兆 1,469 億円（前年同期比 29.4%増）となりました。

なお、燃料消費量ならびに CO<sub>2</sub> 排出量の改善に効果のあるハイブリッド油圧ショベルの更なる拡販を目指すため、全世界の市場への導入を決定し、生産体制を整えました。モデルチェンジを実施した新型ハイブリッド油圧ショベル「HB205」/「HB215LC」を昨年 12 月に導入した日本国内市場に続き、今後は中国、東南アジア、中南米、北米、欧州などの海外市場への導入を図っていきます。

建設機械・車両部門の地域別売上高

（金額単位：百万円）

	当第 3 四半期 連結累計期間 [ A ] 自 2010. 4. 1 至 2010. 12. 31	前第 3 四半期 連結累計期間 [ B ] 自 2009. 4. 1 至 2009. 12. 31	増 減	
			金 額 [ A-B ]	増減率 % [ (A-B)/B ]
日本	187,029	167,165	19,864	11.9
米州	281,725	219,547	62,178	28.3
欧州・CIS	112,849	89,015	23,834	26.8
中国	220,049	160,066	59,983	37.5
アジア※・オセアニア	271,123	190,871	80,252	42.0
中近東・アフリカ	74,146	59,823	14,323	23.9
合計	1,146,921	886,487	260,434	29.4

※日本および中国を除く

<日本>

日本では、昨年 9 月頃から政府による経済対策の効果が薄れ、公共投資は減少したものの、民間設備投資は堅調に推移したため、レンタル向けを中心に需要は回復に向かい、売上は前年同期を上回りました。

なお、新型ハイブリッド油圧ショベル「HB205」/「HB215LC」に関しては、市場導入に合わせ国内一斉の拡販活動を進めており、好調な滑り出しとなっています。

<米州>

北米では、住宅着工件数は引き続き低調だったものの、レンタルおよび鉱山向けの需要が堅調であり、全体の需要は回復に向かいました。このような状況のもと、「代理店在庫ゼロ活動」に引き続き取り組み、代理店の体質強化を図りました。中南米では、チリの鉱山向け需要が大きく伸長し、また最大市場であるブラジルでも鉱山・土木建設・農業・林業など各分野で需要が引き続き好調に推移しました。この市場回復に加え、中南米の鉱山向けに販売・プロダクトサポート活動を強化した結果、米州の売上は前年同期を上回りました。

<欧州・CIS>

当期に入り、需要の下げ止まりを見せ始めた欧州市場は、ドイツ、イギリスを中心に西欧で需要が回復しました。この市場回復に加え、販売代理店との連携により、プロダクトサポートの強化や部品の販売拡大などに努めた結果、売上げは前年同期を上回りました。CIS においては、石炭や金などの天然資源開発向けの鉱山機械を中心に需要が伸長し、売上げは前年同期を上回りました。

このような状況のもと、鉱山機械の中長期的需要を取り込むため、昨年のコマツロシア製造（有）での生産開始に続き、シベリアにおけるクズバスサポートセンターの開設に向けた準備を進め、生産およびプロダクトサポート体制の強化を行いました。

<中国>

中国では、政府主導による都市化の推進やインフラ整備および鉱山向けを中心に、需要は引き続き増加し、売上げは前年同期を上回りました。

今後の鉱山向け需要の拡大を見込み、大手鉱山向けの販売・サポートを行う小松（中国）鉱山設備有限公司の開設に加え、建設機械用のバケット、アタッチメントの開発・生産を行う小松アタッチメント常州会社の稼働を開始しました。また、小松（常州）建機会社の工場移転、KC テクノセンターの稼働に向けた準備、2004 年から継続的に取り組んでいる山東交通学院・サービス専科での代理店サービスエンジニアの育成など、生産、販売・プロダクトサポート両面での体制の拡充に注力しました。

<アジア・オセアニア>

東南アジアでは、最大市場であるインドネシアで鉱山向けの需要が引き続き伸長するとともに、土木建設・農業・林業分野も堅調に推移し、インド、タイ、マレーシアでも需要が好調に推移しました。また、オーストラリアでは鉱山向けの需要が引き続き堅調に推移しました。これらの市場環境を背景として、特にアジアでの売上げが大きく伸長した結果、アジア・オセアニアの売上げは前年同期を上回りました。東南アジアにおいては、KOMTRAX を標準装備した建設機械の導入地域の拡大に注力し、またオーストラリアでは、代理店機能の更なる充実をねらい、昨年 8 月にコマツオーストラリア（株）を分社化し、組織再編を進めるなど、販売・プロダクトサポート体制の強化に引き続き取り組みました。

<中近東・アフリカ>

中近東・アフリカでは、景気が回復に向かいつつあることに加え、資源価格が緩やかながらも上昇し、鉱山分野を中心に需要が堅調に推移した結果、売上げは前年同期を上回りました。これら鉱山開発やインフラ整備の回復に伴い今後市場は拡大する見通しであり、アフリカでは前期のセネガルに続き、昨年 4 月に代理店と共同で新設したケニアのトレーニングセンターにおいて、代理店サービスエンジニアを育成し、プロダクトサポート体制の強化に取り組みました。

**【産業機械他】**

産業機械他部門では、太陽電池市場向けに中国を中心としたアジア地域での設備投資が好調に推移し、シリコンインゴットの切断に使用されるワイヤーソーの販売が大きく伸長したことなどにより、売上高は 1,550 億円（前年同期比 32.0%増）となりました。また、中国、インド、ブラジルなどの「戦略市場」において、自動車業界の設備投資が回復に向かったことから、大型プレス等の受注が増加に転じました。

このような市場環境のもと、当事業部門においては更に競争力を高めるため、プレス事業に関して大型から中小型までの開発や販売・サービス機能をコマツ産機（株）へ集中する組織再編を昨年 4 月に実施しました。また、自動車業界向けの工作機械や半導体製造装置を主たる事業とし、共通性が高いコマツ NTC（株）とコマツエ機（株）の合併、ならびに高いモノづくり技術・ノウハウを持つコマツエンジニアリング（株）のコマツとの合併からなる新たな組織再編を決定するとともに、ワイヤーソーなどの生産能力増強のためのコマツ NTC（株）新工場設立に向けた準備を行いました。

## （2）連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の総資産は、需要期に備えた棚卸資産の増加等により、前期末に比べ 408 億円増の 1 兆 9,999 億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ 453 億円減の 5,410 億円となりました。株主資本は、前期末に比べ 195 億円増の 8,535 億円となり、株主資本比率は前期末に比べ 0.1 ポイント増の 42.7% となりました。ネット・デット・エクイティ・レシオ（注）は前期末の 0.60 に対して、0.53 となりました。

（注）ネット・デット・エクイティ・レシオ（負債資本比率）＝（有利子負債－現預金）／株主資本

当第 3 四半期連結累計期間のキャッシュ・フローについては、四半期純利益の増加等により、営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ 176 億円増加し、1,329 億円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べ 143 億円支出増の 649 億円の支出となりました。また、財務活動によるキャッシュ・フローは、短期債務の返済の減少等により、前年同期に比べ 9 億円支出減の 596 億円の支出となりました。これらの結果、現金及び現金同等物の当第 3 四半期末残高は、前期末に比べ 19 億円増加して、843 億円となりました。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

建設機械・車両部門においては、需要が各地域で引き続き好調を維持しています。特に、中国、米州および日本における需要が想定以上に伸びており、これに伴う販売数量の増加を背景として、売上高、利益ともに昨年10月に公表しました業績予想値を上回る見通しとなりました。

なお、本業績予想値の前提となる第4四半期の為替レートは、1米ドル＝82円、1ユーロ＝114円、1人民元＝12.3円であり、通期の為替レートは1米ドル＝85円、1ユーロ＝113円、1人民元＝12.7円です。

### 2011 年 3 月期（通期）の連結業績の見通し

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益
前回発表予想 (A)	1,760,000	200,000	192,000	120,000
今回修正予想 (B)	1,815,000	230,000	225,000	140,000
増減額 (B-A)	55,000	30,000	33,000	20,000
増減率 (%)	3.1	15.0	17.2	16.7
<参考>前期実績 (2010 年 3 月期)	1,431,564	67,035	64,979	33,559



**（参考）個別業績予想に関する定性的情報**

連結業績予想の修正と同様に、建設機械・車両部門における需要が各地域で引き続き好調を維持しています。特に、中国、米州および日本における需要が想定以上に伸びており、これに伴う販売数量の増加を背景として、売上高、利益ともに昨年 10 月に公表しました業績予想値を上回る見通しとなりました。

2011 年 3 月期（通期）の個別業績の見通し

（金額単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	690,000	67,000	74,000	42,000
今回修正予想 (B)	730,000	78,000	85,000	51,000
増減額 (B-A)	40,000	11,000	11,000	9,000
増減率 (%)	5.8	16.4	14.9	21.4
〈参考〉前期実績 (2010 年 3 月期)	457,676	△26,829	△1,120	2,378

注：前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをご承知下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況および製品需要の変動、為替相場の変動、および国内外の各種規制ならびに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

**2. その他の情報**

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動

当第 3 四半期連結会計期間において連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

## 3. 連結財務諸表等

## (1) 四半期連結貸借対照表

区分	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)		前連結会計年度末 (2010年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	84,353		82,429	
定期預金	606		1,132	
受取手形及び売掛金	442,298		447,693	
たな卸資産	458,105		396,416	
繰延税金及びその他の流動資産	127,099		112,451	
流動資産合計	1,112,461	55.6	1,040,121	53.1
長期売上債権	157,681	7.9	150,972	7.7
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	24,689		24,002	
投資有価証券	57,579		60,467	
その他	2,979		2,399	
投資合計	85,247	4.3	86,868	4.4
有形固定資産	510,619	25.5	525,100	26.8
営業権	28,934	1.4	29,570	1.5
その他の無形固定資産	56,931	2.9	61,729	3.2
繰延税金及びその他の資産	48,073	2.4	64,695	3.3
資産合計	1,999,946	100.0	1,959,055	100.0

区分	当第3四半期連結会計期間末 (2010年12月31日)		前連結会計年度末 (2010年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	111,555		123,438	
長期債務	99,599		105,956	
－1年以内期限到来分				
支払手形及び買掛金	279,014		207,024	
未払法人税等	20,388		22,004	
繰延税金及びその他の流動負債	183,801		183,324	
流動負債合計	694,357	34.7	641,746	32.7
固定負債				
長期債務	329,857		356,985	
退職給付債務	41,653		46,354	
繰延税金及びその他の負債	35,067		37,171	
固定負債合計	406,577	20.3	440,510	22.5
負債合計	1,100,934	55.0	1,082,256	55.2
(純資産の部)				
資本金	67,870		67,870	
資本剰余金	140,561		140,421	
利益剰余金				
利益準備金	33,243		31,983	
その他の剰余金	798,274		724,090	
その他の包括利益(△損失)累計額	△ 151,154		△ 95,634	
自己株式	△ 35,268		△ 34,755	
株主資本合計	853,526	42.7	833,975	42.6
非支配持分	45,486	2.3	42,824	2.2
純資産合計	899,012	45.0	876,799	44.8
負債及び純資産合計	1,999,946	100.0	1,959,055	100.0

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

区分	前第3四半期連結累計期間 自 2009年 4月 1日 至 2009年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自 2010年 4月 1日 至 2010年12月31日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	1,003,927	100.0	1,301,973	100.0
売上原価	780,516	77.7	946,407	72.7
販売費及び一般管理費	181,204	18.0	190,488	14.6
その他の営業収益 (△費用)	△ 6,110	△ 0.6	△ 2,331	△ 0.2
営業利益	36,097	3.6	162,747	12.5
その他の収益 (△費用)	△ 1,409		△ 3,844	
受取利息及び配当金	5,215	0.5	3,012	0.2
支払利息	△ 7,276	△ 0.7	△ 4,651	△ 0.4
その他 (純額)	652	0.1	△ 2,205	△ 0.2
税引前四半期純利益	34,688	3.5	158,903	12.2
法人税等	11,839	1.2	55,650	4.3
持分法投資損益調整前四半期純利益	22,849	2.3	103,253	7.9
持分法投資損益	556	0.1	2,399	0.2
四半期純利益	23,405	2.3	105,652	8.1
非支配持分損益	△ 5,050	△ 0.5	△ 5,030	△ 0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	18,355	1.8	100,622	7.7
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	18.96 円		103.97 円	
希薄化後	18.95 円		103.91 円	

(第3四半期連結会計期間)

区分	前第3四半期連結会計期間 自 2009年10月 1日 至 2009年12月31日		当第3四半期連結会計期間 自 2010年10月 1日 至 2010年12月31日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	357,964	100.0	442,210	100.0
売上原価	275,434	76.9	316,530	71.6
販売費及び一般管理費	61,721	17.2	65,738	14.9
その他の営業収益 (△費用)	△ 4,497	△ 1.3	△ 1,107	△ 0.3
営業利益	16,312	4.6	58,835	13.3
その他の収益 (△費用)	△ 76		△ 43	
受取利息及び配当金	1,250	0.3	683	0.2
支払利息	△ 2,151	△ 0.6	△ 1,362	△ 0.3
その他 (純額)	825	0.2	636	0.1
税引前四半期純利益	16,236	4.5	58,792	13.3
法人税等	5,196	1.5	22,143	5.0
持分法投資損益調整前四半期純利益	11,040	3.1	36,649	8.3
持分法投資損益	515	0.1	1,201	0.3
四半期純利益	11,555	3.2	37,850	8.6
非支配持分損益	△ 1,398	△ 0.4	△ 992	△ 0.2
当社株主に帰属する四半期純利益	10,157	2.8	36,858	8.3
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的	10.49 円		38.09 円	
希薄化後	10.49 円		38.06 円	

(3) 四半期連結純資産計算書

前第3四半期連結累計期間(自2009年4月1日至2009年12月31日)

(百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前々期末残高(2009年3月31日現在)	67,870	140,092	28,472	719,222	△105,744	△34,971	814,941	33,393	848,334
現金配当				△25,180			△25,180	△1,735	△26,915
利益準備金への振替			2,688	△2,688			-	-	-
持分変動及びその他							-	1,514	1,514
包括利益(△損失)									
四半期純利益				18,355			18,355	5,050	23,405
その他の包括利益(△損失) －税控除後					△2,018		△2,018	1,431	△587
外貨換算調整勘定					1,244		1,244	-	1,244
未実現有価証券評価損益					2,326		2,326	1	2,327
未実現デリバティブ評価損益					640		640	678	1,318
計							20,547	7,160	27,707
新株予約権の付与及び行使		413					413		413
自己株式の購入等						△22	△22		△22
自己株式の売却等		△84				256	172		172
前第3四半期末残高(2009年12月31日現在)	67,870	140,421	31,160	709,709	△103,552	△34,737	810,871	40,332	851,203

当第3四半期連結累計期間(自2010年4月1日至2010年12月31日)

(百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金		その他の 包括利益 (△損失) 累計額	自己株式	株主資本 合計	非支配持分	純資産 合計
			利益準備金	その他の 剰余金					
前期末残高(2010年3月31日現在)	67,870	140,421	31,983	724,090	△95,634	△34,755	833,975	42,824	876,799
現金配当				△25,178			△25,178	△975	△26,153
利益準備金への振替			1,260	△1,260			-	-	-
持分変動及びその他							-	1,910	1,910
包括利益(△損失)									
四半期純利益				100,622			100,622	5,030	105,652
その他の包括利益(△損失) －税控除後					△56,935		△56,935	△3,382	△60,317
外貨換算調整勘定					274		274	-	274
未実現有価証券評価損益					418		418	-	418
未実現デリバティブ評価損益					723		723	79	802
計							45,102	1,727	46,829
新株予約権の付与及び行使		133					133		133
自己株式の購入等						△572	△572		△572
自己株式の売却等		7				59	66		66
当第3四半期末残高(2010年12月31日現在)	67,870	140,561	33,243	798,274	△151,154	△35,268	853,526	45,486	899,012

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期 連結累計期間 自 2009年 4月 1日 至 2009年12月31日	当第3四半期 連結累計期間 自 2010年 4月 1日 至 2010年12月31日
区分	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	23,405	105,652
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	67,752	66,128
法人税等繰延分	△ 12,330	23,907
有価証券及び投資有価証券売却損益	△ 807	△ 72
有形固定資産売却損益	△ 510	△ 1,946
固定資産廃却損	1,313	948
未払退職金及び退職給付債務の増減	△ 1,884	△ 4,142
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	△ 28,410	△ 48,750
たな卸資産の増減	86,846	△ 94,511
支払手形及び買掛金の増減	△ 30,792	78,182
未払法人税等の増減	△ 2,721	△ 126
その他(純額)	13,457	7,659
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	115,319	132,929
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△ 69,103	△ 74,383
固定資産の売却	11,077	6,317
売却可能投資有価証券の売却	720	1,843
売却可能投資有価証券等の購入	△ 3,465	△ 493
子会社及び持分法適用会社株式の売却(現金流出額との純額)	661	-
子会社及び持分法適用会社株式の取得(現金取得額との純額)	638	758
貸付金の回収	10,512	1,556
貸付金の貸付	△ 1,116	△ 918
定期預金の増減	△ 521	407
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 50,597	△ 64,913
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達	104,021	50,162
長期債務の支払	△ 41,069	△ 50,392
短期債務の増減(純額)	△ 70,869	△ 10,339
キャピタルリース債務の減少	△ 25,876	△ 24,034
自己株式の売却及び取得(純額)	150	30
配当金支払	△ 25,180	△ 25,178
その他(純額)	△ 1,752	121
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△ 60,575	△ 59,630
為替相場変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 1,219	△ 6,462
現金及び現金同等物純増減額	2,928	1,924
現金及び現金同等物期首残高	90,563	82,429
現金及び現金同等物四半期末残高	93,491	84,353

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2009年4月1日 至 2009年12月31日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	886,487	117,440	1,003,927	—	1,003,927
(2) セグメント間の内部売上高	2,040	11,276	13,316	△ 13,316	—
計	888,527	128,716	1,017,243	△ 13,316	1,003,927
セグメント利益	44,131	2,273	46,404	△ 4,197	42,207

当第3四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年12月31日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,146,921	155,052	1,301,973	—	1,301,973
(2) セグメント間の内部売上高	1,614	7,740	9,354	△ 9,354	—
計	1,148,535	162,792	1,311,327	△ 9,354	1,301,973
セグメント利益	156,379	13,403	169,782	△ 4,704	165,078

前第3四半期連結会計期間（自 2009年10月1日 至 2009年12月31日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	316,882	41,082	357,964	—	357,964
(2) セグメント間の内部売上高	623	2,945	3,568	△ 3,568	—
計	317,505	44,027	361,532	△ 3,568	357,964
セグメント利益	23,344	△ 1,397	21,947	△ 1,138	20,809

当第3四半期連結会計期間（自 2010年10月1日 至 2010年12月31日）

（百万円）

	建設機械 ・車両	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	383,276	58,934	442,210	—	442,210
(2) セグメント間の内部売上高	623	2,309	2,932	△ 2,932	—
計	383,899	61,243	445,142	△ 2,932	442,210
セグメント利益	54,077	7,270	61,347	△ 1,405	59,942

(注) 1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、資源リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. 産業機械他

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、その他

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。



【地域別情報】

地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2009年4月1日 至 2009年12月31日）

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	238,033	232,725	92,826	178,606	201,802	59,935	1,003,927

当第3四半期連結累計期間（自 2010年4月1日 至 2010年12月31日）

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	256,680	289,839	114,065	282,145	285,059	74,185	1,301,973

前第3四半期連結会計期間（自 2009年10月1日 至 2009年12月31日）

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	87,301	80,400	30,604	60,867	78,018	20,774	357,964

当第3四半期連結会計期間（自 2010年10月1日 至 2010年12月31日）

（百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
外部顧客に対する売上高	93,561	93,252	41,927	96,018	92,873	24,579	442,210

※ 日本及び中国を除く。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。